

# 平成28年青森県花き生産状況（修正版）

農産園芸課

## 1 概況

平成28年の本県花きの生産状況は、作付面積が121ヘクタール（前年比98%）で、前年に比べ2ヘクタールの減少、生産数量が2,472万本・鉢（同93%）で、前年に比べ約185万本・鉢の減少、産出額が19億2,900万円（同101%）で、前年に比べ約1,200万円の増加となった。また、栽培農家数は886戸（同96%）と、前年に比べ41戸減少した。

これらの要因として、生産者の高齢化や家族労働力の減少、取引単価の上昇などが影響したと考えられる。

表1 生産状況

（単位：ha、千本・鉢、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	生産数量	産出額	栽培戸数
28年	121	24,716	1,929	886
27年	123	26,566	1,917	927
28年/27年	98	93	101	96

【農産園芸課調べ】

## 2 作付面積

### (1) 切花類

切花類の作付面積は約96ヘクタール（前年比102%）で、前年より約2ヘクタール増加した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク）が約20ヘクタールと最も多く、全体の17パーセントを占めた。次いで、サクラ（枝物）が約15ヘクタール、トルコギキョウ約10ヘクタール、ヒマワリ約5ヘクタール、バラ約3ヘクタールの順となった。

キク類、バラ、リンドウ、ストック等が減少したものの、サクラ、トルコギキョウ、ヒマワリ、アルストロメリア等が増加した。

### (2) 鉢もの類

鉢もの類の作付面積は約10ヘクタール（同94%）で、前年より0.7ヘクタール減少した。

品目別では、シクラメンが約2ヘクタールで最も多く、次いでサクラソウ、ポットローズがそれぞれ約1ヘクタールとなった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の作付面積は約5ヘクタール（同95%）で、前年より0.3ヘクタール減少した。

表2 作付面積

（単位：a，%）

区別	年次		年次		28/27	
	28年	割合	27年	割合		
切花類	9,634	80	9,458	77	102	
主要品目	キク類	1,999	17	2,128	17	94
	サクラ（枝物）	1,455	12	1,209	10	120
	トルコギキョウ	953	8	844	7	113
	ヒマワリ	464	4	365	3	127
	バラ	265	2	270	2	98
	リンドウ	213	2	244	2	87
	アルストロメリア	182	2	175	1	104
	宿根カスミソウ	154	1	139	1	111
	カンパニュラ	133	1	120	1	111
	ストック	136	1	146	1	93
	アスター	118	1	134	1	88
	ユリ類	114	1	147	1	78
	カーネーション	110	1	111	1	99
	グラジオラス	99	1	87	1	114
	デルフィニウム	91	1	83	1	109
鉢ものの類	1,049	9	1,118	9	94	
主要品目	シクラメン	198	2	200	2	99
	サクラソウ	104	1	99	1	105
	ポットローズ	100	1	131	1	76
苗ものの類	548	5	579	5	95	
花木類	383	3	598	5	64	
芝類	400	3	400	3	100	
球根類	50	0.4	153	1	33	
合計	12,064	100	12,306	100	98	

【農産園芸課調べ】

：重要品目及び地域振興品目

（注）数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 産出額

(1) 切花類

切花類の産出額は10億9,300万円（前年比106%）で、前年より5,700万円増加した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク）が3億3,200万円（同103%）と最も多く、全体の17パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが1億4,100万円（同118%）、アルストロメリアが1億2,300万円（同129%）、バラが1億500万円（同104%）、カンパニュラが3,100万円（同105%）、ヒマワリが2,500万円（同85%）の順となり、ヒマワリ、ユリ類等は減少したが、キク類、トルコギキョウ、アルストロメリア、バラ、カンパニュラ等は増加した。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の産出額は5億3,400万円(同95%)で、前年より3,100万円減少した。

品目別では、ポットローズが1億5,600万円と最も多く、次いでシクラメンが6,100万円、サクラソウが3,800万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の産出額は1億5,000万円(同93%)で、前年より1,100万円減少した。

表3 産出額

(単位：百万円，%)

区別	年次		年次		28/27	
	28年	割合	27年	割合		
切花類	1,093	57	1,036	54	106	
主要品目	キク類	332	17	321	17	103
	トルコギキョウ	141	7	120	6	118
	アルストロメリア	123	6	95	6	129
	バラ	105	5	101	5	104
	カンパニュラ	31	2	29	2	105
	ヒマワリ	25	1	29	2	85
	ユリ類	23	1	27	1	86
	宿根カスミソウ	21	1	21	1	102
	ストック	11	1	12	1	94
	カーネーション	9	0.5	11	1	84
	チューリップ	7	0.4	12	1	58
	リンドウ	7	0.4	9	0.4	82
	デルフィニウム	7	0.4	8	0.4	92
	アスター	6	0.3	11	1	53
	サクラ	6	0.3	6	0.3	107
グラジオラス	4	0.2	5	0.3	75	
鉢ものの類	534	28	565	29	95	
主要品目	ポットローズ	156	8	191	10	82
	シクラメン	61	3	63	3	97
	サクラソウ	38	2	37	2	103
苗ものの類	150	8	161	8	93	
花木類	95	5	97	5	98	
芝類	55	3	55	3	100	
球根類	1	0.1	3	0.2	32	
合計	1,929	100	1,917	100	101	

【農産園芸課調べ】

：重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

#### 4 地域別の生産状況

##### (1) 作付面積

平成28年の作付面積は、西北地域と下北地域で前年と比較して増加、他の地域では減少した。

地域別では、三八地域が約40ヘクタールで全体の33パーセントを占め、次いで中南地域が約36ヘクタール、東青地域が約22ヘクタール、西北地域が約18ヘクタール、上北地域が約5ヘクタール、下北地域が0.5ヘクタールとなった。

##### (2) 産出額

平成28年の産出額は、三八地域が6億1,900万円で最も多く、次いで中南地域が5億5,600万円、上北地域が3億5,300万円、西北地域が3億4,600万円となった。

なお、上北地域は、ポットローズ等の鉢ものの生産により作付面積は約5ヘクタールと少ないものの、産出額は多くなっている。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					産出額			主な品目
	28年	割合	27年	割合	28/27	28年	27年	28/27	
東青	2,158	18	2,243	18	96	52	54	96	キク、トルコギキョウ、カーネーション、デルフィニウム、宿根スターチス
中南	3,573	30	3,615	29	99	556	571	97	アルストロメリア、トルコギキョウ、キク、バラ、サクラソウ
三八	3,957	33	4,057	33	98	619	634	98	キク、カンパニュラ、ユリ類、シクラメン、トルコギキョウ
西北	1,835	15	1,787	15	103	346	303	114	キク、トルコギキョウ、バラ、宿根カスミソウ、シクラメン
上北	491	4	562	5	87	353	352	100	ポットローズ、カランコエ、観葉植物、バラ、ポインセチア
下北	51	0.4	43	0.3	118	2.5	2.4	104	キク、アスター、トルコギキョウ
合計	12,064	100	12,306	100	98	1,929	1,917	101	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 5 バケット出荷の状況

切花の鮮度保持のために近年主流となりつつあるバケット出荷は、県内のJA花き部会を中心に実施されており、年々増加している。

品目別では、カンパニュラはバケットによる出荷量が約60万本とほぼ全量で行われているほか、トルコギキョウは約59万本で49パーセント、バラは約18万本で16パーセント、カーネーションは約10万本で49パーセントなどとなっている。

表5 切花類のバケット出荷状況

(単位：a、千本、%)

品 目	施設・露地栽培計			
	作付面積	生産数量	バケット出荷量	バケット出荷率
カンパニュラ	133	602	601	99.7
トルコギキョウ	953	1,202	591	49.2
バ ラ	265	1,133	177	15.6
カーネーション	110	197	98	49.4
ヒマワリ	464	593	45	7.6
デルフィニウム	91	52	35	66.8
その他	244	509	64	12.6
合 計	2,261	4,289	1,610	37.5

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 6 JAの花き生産の状況（全農あおもり取扱状況）

### (1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの平成28年花き取扱量（県内JAの全取扱数量）は、約803万本（前年比90%）となり、前年より92万本の減少となった。

また販売額は6億300万円（同91%）となった。

### (2) 販売額割合

JA全農あおもりの県内花き産出額に占める販売額のシェアは31パーセントとなり、前年より4ポイント低下した。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

(単位：千本、百万円、円、%)

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	シェア
28年	10	8,031	603	75	31
27年	10	8,952	663	74	35
28年/27年		90	91	101	90

【JA全農あおもり調べ】

(注) シェア：(JA全農あおもり販売額÷県産出額)×100

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。